Super-Kamiokande検出器で取得された約5200日分の観測データを解析した。本年度は特に太陽ニュートリノfluxと太陽活動との相関を研究したが、20年間で優位な変動は見られなかった。また、太陽の物質効果によるエネルギースペクトラムの歪みはいまだに観測されていない。超新星背景ニュートリノ探索を目指すSK-Gd実験に向けた準備と検証を進めている。企業と協力して添加用のGd粉末の純化を進めた。また、Gd添加水の製造装置の建設が始まり、順調に進んでいる。